

創立40周年記念招待試合（硬式野球部）

6月21日（金）、さきがけ八橋球場にて、硬式野球部の「新屋高校創立40周年記念招待試合」が行われました。

午前の部は、今年の夏の甲子園大会ベスト8に入った奈良県の強豪校である智辯学園高校と対戦しました。両校の監督が大学時代のチームメイトだった縁があり、今回の対戦が決まりました。前日には両チームの選手と関係者による夕食会が催され、真剣に野球に打ち込む者同士すぐに打ち解け合い、お互いに交流を深めることができました。



当日の試合では、両チームとも初回に2点ずつ入れてスタートしました。一時は新屋高校が1点をリードする展開があるなど、6回まではほぼ互角の勝負をしていました。両校を応援している全校生徒が入っているスタンドからは大きな声援や拍手が飛んでいました。



しかし7回以降は智辯学園が地力を発揮し、残念ながら4-8で試合には負けてしまいました。前日の夕食会では、両校の選手同士で「真剣勝負の試合をしよう」と話をしていたらしく、その約束の通りに真剣に勝負に挑んだ新屋高校の選手たちはとても悔しそうにしていました。しかし、全国レベルの強豪校と互角の試合ができたことは選手たちにとっては今までの努力の成果を確認できたらしく、個々人だけでなく、チーム全体としての自信につながったようです。

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E
新屋	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4	11	0
智辯学園	2	0	0	1	0	0	3	2	x		8	10	0

1	2	3	4	5	6	7	8	9	UMPIRE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
5	3	4	0	9	7	2	8	6	P	PL 1B 2B 3B	8	6	4	H	7	1	3	9	2
知	近	西	中	國	少	山	巴	今	杉	近高 佐藤	新賢 石	伊内 佐	加	大	嵯	杉			
花	藤	川	道	島	路	崎	田	井	本	野橋 藤本	屋木 愛	倫	藤	野	藤	川	峨	山	



午後は、岩手県の甲子園常連校（春5回、夏11回出場）で、今年の春の東北大会ベスト4の盛岡大付属高校と対戦しました。こちらも智辯学園と同様に、両校の監督同士が高校時代より野球を通しての交流があったことがきっかけで実現することとなりました。



試合において新屋高校チームは、投手を除いて午前中の試合と同じメンバーでスタートしました。しかし、午前の試合の疲れのためか、新屋高校本来の力が発揮できず、徐々に得点を取られる展開になり、最終的に1-10の大差で敗れてしまいました。これからの夏の県選手権大会に向けて、多くの課題が見つかった試合でもありました。しかし、スタンドからは、午前の試合と同様に両校に向けて大きな声援が飛んでいました。



TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E
新屋	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	6	2
盛岡大付属	0	2	0	0	2	6	0	0	x		10	15	1

1	2	3	4	5	6	7	8	9	UMPIRE	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
5	8	0	H	7	9	2	3	6	4	P	PL 1B 2B 3B	8	6	2	R	H	9	5	4	1
板	金	管	久	吉	坂	松	平	月	鈴	谷藤 近高	新岩 近	内	堀	大	今	熊	石	田	海	
垣	澤	野	保	暉	田	本	野	島	木	本本 野橋	屋見 野藤	井	塚	野	谷	俊	林			



今年の秋田県選手権大会において、新屋高校がシード校を倒してベスト8まで進出する活躍ができたのは、これらの招待試合でのさまざまな経験が活かされたためだと感じております。今回の招待実現のためにご労苦をいただいた智辯学園と盛岡大学附属高校の両校の選手並びに監督をはじめとする関係者の方々には改めて厚く感謝申し上げます。